

ヒルフェ通信(8月号)

❖ そっと寄り添いやさしくサポート ❖

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的障がい者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与することを目的として、東京都行政書士会が設立した法人です。



◆ 理事長就任のご挨拶

皆様におかれましては、日頃より当法人の活動に格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この度、令和7年6月に開催された総会後の理事会において、山崎前理事長の後を受け公益社団法人成年後見支援センターヒルフェの理事長に就任いたしました、齊藤志郎でございます。



山崎前理事長は、当法人設立から役員として法人運営に関わり、成年後見制度の普及促進、東京会や各種関係機関の連携等に尽力されてこられました。本当に長くヒルフェを支えて頂き有難うございました。微力ではございますが、山崎先生や他の先人の先生方が築いてこられた事業を、まずはしっかり引き継ぎ、成年後見制度の理念を広く社会に根付かせ、支援を必要とされる方々が安心して暮らせる社会の実現に向け、会員とともに全力で取り組んでまいりたく存じます。

高齢化の進展や障がいのある方々を取り巻く環境の変化に伴い、成年後見制度への期待と責任は日増しに高まっております。当法人ではこれまで、制度の普及・啓発、後見人等の育成、後見事務の指導・監督、関係機関との連携整備などに努めてまいりました。これらの取り組みをさらに充実させ、より多くの方々に必要な支援が届くよう、一層の努力を重ねてまいります。

今後とも、母体である東京都行政書士会と協働し、行政機関・司法関係者・福祉関係者の皆様をはじめとする関係各位との連携を深めつつ、法改正などにも注視しながら、地域に根ざした公益活動を展開してまいりますので、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と益々のご活躍を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

令和7年6月
公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ
理事長 齊藤志郎

◆ 理事長退任のご挨拶

私儀

令和7年6月24日公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ定時総会におきまして、理事長を退任することとなりました。

今日までヒルフェ会員の皆様、関係団体の皆様の温かいご指導ご鞭撻を賜り、ヒルフェの後見事業を滞りなく運営できましたことは、ひとえに皆様方の支えがあってこそこの事と、心から感謝と御礼を申し上げます。

ヒルフェの前身は東京都行政書士会の中に設置した平成17年「成年後見センター」ですが、平成15年に市民法務部の中に「成年後見センター準備委員会」を発足し、その時から携わり、既に22年以上を経過しております。今日まで、ヒルフェは事件を起こすこともなく、本当に堅実に歩んで来られましたことは、皆様のご理解とご協力とそしてヒルフェ会員のたゆまぬ努力があったの事と思っております。

これからのヒルフェは、新理事長のもと、会員の皆様が今まで培ってきた経験と知識を基に、互いに協力し合い、新しい力を結集してヒルフェが目指す後見事業を推進していって下さい。

そして、関係団体の皆様にも、これからのヒルフェの事業の促進に、今まで以上のご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

最後に一言申し添えるとすれば、私は信頼できるヒルフェ会員の皆様と出会い、今日まで一緒に使命感をもって仕事が出来たことを大変嬉しく思い、そして心から誇りに思っております。

有難うございました。

皆様のこれからの益々のご活躍を期待しております。

山崎節子